

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H210	社会保障論 I	2年	講義	2	笹川陽子
<b>授業概要</b> 現在の社会保障制度は日本国憲法 25 条に基づきライフサイクルに応じた各制度によって行われている。しかし、社会保障の基本は救貧・防貧であり、国民のセーフティネットの役割とされている。近年、経済の停滞や少子高齢化などの社会経済的要因により自助努力では解決できない問題が山積する一方、相互扶助としてのこの制度の存続が危ぶまれている。ここでは原点に立ち返り、社会保障とは何を学ぶ。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 「貧困とはなにか」について考え、「自助・互助・慈善」の共同体システムから、産業の進展にともなって誕生した貧困救済・予防のための「公助」「互助」が現在の社会保障制度となっていく過程を概観し、理解できるようにする。この社会保障制度が社会経済の変化において我々の生活にいかに関与するものであり、制度存続がいかに関与する必要があるかを理解することができる。(DP3)					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	社会保障とは何か	我々の生活に不可欠なセーフティネットとしての最低生活保障について学ぶ。また、日本の社会保障取り巻く環境の変化と社会保障制度の変遷を考察する。			
2	国民生活と社会保障制度	ライフサイクルからみた社会保障制度を学ぶ。いわゆる「ゆりかご」から「墓場」までといった制度を理解する。			
3	社会保障の体系と理念・意義・目的	社会保障の体系と理念・意義・目的について学ぶ。			
4	社会保障の分類と費用・負担	社会保障の分類と費用・負担について学ぶ。とくに、少子高齢化にともなう社会保障給付と負担について考察する。			
5	社会保障の機能	我々の生活においていかに社会保障の機能が需要かを学ぶ。			
6	相互扶助と慈善	前産業社会における共同体の相互扶助機能と慈善活動の役割を学ぶ。			
7	エリザベス救貧法とその背景	産業社会の展開にともなう国家介入による貧困救済制度成立までの歴史を学ぶ。			
8	公的扶助の誕生とその背景	第一次産業革命と公的扶助が誕生するまでの経緯を学びながら、救貧機能の誕生と最低生活保障とはなにかを考える。			
9	社会保険の誕生とその背景	第二次産業革命と社会保険が誕生するまでの経緯を学びながら、労働者にとって貧困防止としての社会保険の大切さを考える。			
10	社会保障の誕生と展開	国際基準の社会保障としてのILOの役割と社会保障の国際性を学ぶ。			
11	高度経済成長と福祉国家	戦後日本の経済成長に伴う福祉国家の誕生と展開について学ぶ。			
12	低経済成長と福祉国家 福祉国家の限界	福祉国家の限界による福祉社会への転換の背景を学ぶ。			
13	社会経済の変化と社会保障	社会経済の変化に伴う現在の社会保障の課題を理解する。			
14	公的扶助(生活保護制度)	生活保護制度の概要と現状を学ぶ。			
15	社会保険と公的扶助の比較	防貧機能と救貧機能との相違を理解する。			

準備学修(授業外の自己学修)

復習および試験対策として講義内容を文章化すること(添削後に返却)。

成績評価の方法・基準(%表記)

平常点(出席・授業態度)(10%) および期末試験(90%)

観点	S	A	B	C
貧困と社会保障との関係についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定水準で理解している
経済発展と社会保障制度との関係についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定水準で理解している
持続可能な社会保障制度の必要性についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定水準で理解している

教科書

特に定めないが、テーマごとに資料配布

参考書等

棕野美智子、田中耕太郎著『はじめての社会保障 第14版』有斐閣  
社会保障入門編集委員会『社会保障入門2017』中央法規

履修上の注意・学修支援

- 1 社会保障Ⅰ・Ⅱの履修が望ましい。
- 2 教科書は定めないので、毎回出席しノートをとること。
- 3 授業開始後に、前回授業の内容を質問するので復習すること。